

へんしん バイク

x14 x16
取扱説明書



【対象年齢】 へんしんバイクX14：3.5歳～6.5歳
へんしんバイクX16：4歳～7歳
体重制限：35kg 2人以上での使用禁止

安全上のご注意

警告

安全のため、使用前に本説明書をよく読み、必ずお守りください。
使用する際は必ず保護者が付き添い、法律、道路交通法、及び、
地域の条例を事前に確認した上で、ご使用ください。
これらの注意事項が守られない場合、重大な怪我や事故につながる
可能性があります。

- 公道、人通りが多い所や車の通る所、小石や砂利、段差のある所、濡れて滑る所、急な坂道は避け、公園や私道など保護者の目の届く場所でご使用ください。
- 安全のため、常にヘルメットや肘当て、膝当てなどの適切な防護具、つま先、及びかかとが覆われた靴や靴下など適切な衣類を着用し、裸足、サンダルでは使用しないでください。
- 使用中はお子様から目を離すことのない様、注意してください。また走行中は必ず近くで同伴してください。
- 雨、雪、雹（ひょう）などの悪天候時、路面凍結時には使用しないでください。
- 両手でしっかりとハンドルを握ってご使用ください。
- チェーンにお子様の指が巻き込まれないよう、十分に注意してください。
- 開封時、付属品を確認し過不足がないか確認してください。
- 初期不良の場合や付属品が不足の場合、お買上げから2週間以内にご連絡ください。
- 使用前に必ず全ての部品が正確に組み立てられ、全てのネジがしっかり締められていることを確認してください。本体を左右に動かし、ハンドル、サドル等がしっかり固定されていることを確認してください。また、前後のブレーキが効くことを確認してください。
- お子様の成長に合わせてハンドルやサドルの高さ調節を行ってください。
- 組み立ては、必ず大人の方が行ってください。組み立て作業はお子様の安全のため、自転車店で行ってください。作業にあたっての工賃はお客様のご負担となります。・故障の兆候がないか、定期的に点検、メンテナンスを行ってください。
もし不具合が見つかった場合は使用を中止し、販売店か当社までご連絡ください。
- この製品は性能と耐久性を考慮して製造されていますが、傷害、死亡事故が発生する場合があります。保護者はお子様にへんしんバイクの正しい乗り方を教え、危険な事柄が起こる可能性についても、よく理解させてあげてください。
- 本説明書はいつでも見ることが出来る場所に保管し、随時確認してください。

※マニュアルに記載されている全ての写真は、組み立ての参照にのみ使用されるものとし、写真と実際の商品は異なる場合があります。

はじめにお読みください

- 1) ヘンシンバイクを公道で乗るには、軽量スポーツバイクにし、前後の反射板を取付けて下さい。また小さなお子様の公道での使用は危険が伴います。目の届く所で安全にお使いください。
- 2) 組立製造時、及びペダルシステム動作確認点検の際に、小さな傷や塗装の剥がれなどが起きる可能性があります。予め、ご理解頂きますようお願い致します。
- 3) 輸送中のパンク防止のため、お届け時タイヤの空気圧は低くなっています。ご使用前は必ず空気を入れてください。空気を入れずに使用するとパンクの原因になります。
- 4) 輸送中にネジが緩み、各パーツが外れたり、ブレーキが効かなくなる場合があります。使用前は必ず、全てのネジを増し締めし、ブレーキの動作確認をして使用前点検をしてください。安全のため、後輪ブレーキは硬めに設定されています。調整は自転車店でお願いします。

1	たった一度しかない自転車デビューをハッピーに！！	4
1.1	ヘンシンバイクに乗り始める身長について	4
1.2	軽量スポーツバイクへの変更の時期について	4
1.3	ヘンシンバイクの外観	5
2	ヘンシンバイクの箱の中身について	6
3	各部の名称	7
4	組み立てについて	8
4.1	バランスバイクの組立	8
4.2	ハンドルバーの装着	8
4.3	サドルの調整	9
4.4	軽量スポーツバイクの組み立て	11
4.5	ペダルシステムを取り外し、バランスバイクに組み替える	11
5	前後ブレーキの調整	15
5.1	ブレーキレバーの調整	15
5.2	前後ブレーキの調整	15
6	乗車前の点検	15
7	メンテナンス	16
8	専用スタンドの取り付け	16
9	お問合せ	17

1 たった一度しかない自転車デビューの瞬間をハッピーに！！

すくすく大きくなる子ども。今までは大きな服を買うように、大きな自転車に補助輪をつけました。1年後すっかり身体が慣れた頃、自転車に挑戦。補助輪を外す時、子どもは「怖さ」を感じます。子どもが自転車に乗るメカニズムを研究し、へんしんバイクは補助輪不要、特訓なしで自然に自転車に移行できます。自転車に乗り始める3、4歳児の股下平均に合わせたフレームは、コンパクトだから軽量で丈夫。子どもは遊びながら自分で歩き、走り、曲がり、止まることを覚えていきます。ペダルがないので、転んでもケガの可能性は低く、自分で起こすのも簡単。

バランス感覚を身に付けたらステップ2。ペダルをつけ、軽量スポーツバイクに変身させましょう。へんしんバイクが自転車に変身するから、子どもはワクワク！乗り慣れたフレームは怖さを感じず、パパママが見守る中、自転車に乗れた瞬間・お子様の顔には「自信」がチラリ。

次はステップ3。軽量スポーツバイクの本領を発揮して、マウンテンバイクのように自由に乗り回しましょう！ペダルなしで磨いたバランス感覚が、スピード感を加え一層磨きがかかります。それは、へんしんバイクが子ども用自転車の約半分のわずか8kg（へんしんバイク X16 は 8.6kg）だから（他のバランスバイクからへんしんバイクの乗り換えも多数）自転車に自由に乘れたら、交通ルールをしっかりと教えて、親子でサイクリングに！！自分の世界の広がり、お子様を好奇心いっぱいの子に育ててくれます。たった一度しかない「自転車デビューの瞬間」を通し、お子様の心と体の成長とご家族の幸せをお手伝いします。

1.1 へんしんバイクに乗り始める身長について

サドル高はバランスバイクの最も低い状態で4才児の平均股下サイズの38.5cm（へんしんバイク X16 は 43.5cm）。へんしんバイクにまたがり、足が地面にぴったり着くとお子様は安心して乗ることができます。足が着かない場合は、お子様の成長に合わせて、乗り始めて下さい。

1.2 軽量スポーツバイクへの変更の時期について

コーンやペットボトルでコースを作り、ハの字で右回り、左回りが自由に走り回れると、必要なバランス感覚は身についています。曲がる時ハンドルがぐらつくようなら、もう少し練習しましょう。真っ直ぐ進むだけでは体幹は使わないので、コーンを使ったりおいかけっこで30分～数時間遊ぶとGOOD。大事なのはお子様の好奇心。バランスバイクでたっぷり遊びたい子もいれば、1日でも早く自転車に乗りたい子もいます。お子様に合わせてペダルをつける時期を選びましょう。

- ・蹴り進めるようになった→コーンを使ってスラロームや8の字、線を引きぴたりと止まる。
- ・スピードを上げるとハンドルじゃ曲がれない→体を倒して曲がる。
- ・段差で痛い思いをした→段差の前にスピードを落とす。
- ・「パパとかけっこで競争だ！」→どうしたら速く進めるか体の使い方を工夫する、etc.
- ・上手くできることも、失敗して転ぶことも大切な経験。バランスバイクでもスポーツバイクの時も、たっぷり遊ぶとそれだけ脳と体の神経回路が伸びて、イメージ通り体を動かすことができるようになります。これは全てのスポーツの基礎であり、将来イメージ通り行動できる人になるトレーニングです。

遊び方や自転車の乗り方は、ユーザー登録すると見れるレッスン動画や全国で開催している「30分で乗れる自転車教室」に参加してみてください。

1.3 へんしんバイクの外観

へんしんバイクは、お子様の発育に合わせて2つのモードがあります。ペダルなしのモードをバランスバイク、ペダルをつけて自転車にしたモードを軽量スポーツバイクといいます。（以下、バランスバイク、スポーツバイクといいます。）

へんしんバイクはバランスバイク状態でお手元に届けられます。最初はペダルシステム(ペダル、チェーン等)のないバランスバイクとして乗車します。お子様がバランス感覚を習得した後は、ペダルシステムを取り付け、スポーツバイクとして乗車してください。



図 1 バランスバイク



図 2 軽量スポーツバイク

2 へんしんバイクの箱の中身について

へんしんバイクは、80%組み立てられた状態（バランスバイク）でお手元に届けられます。

*ハンドル・ペダルシステムは外した状態で納品されます。

- | | |
|---------------|-----|
| A. へんしんバイクの車体 | 1 体 |
| B. サドル | 1 個 |
| C. ハンドルバー | 1 本 |
| D. 前輪 | 1 個 |
| E. 輸送用保護キャップ | 4 個 |
| F. 説明書 | 1 部 |

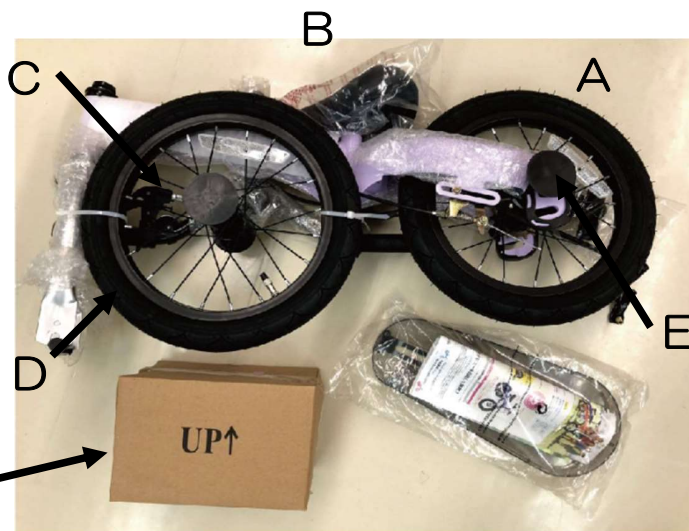


図3

【小箱の内容物】

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| G. チェーンカバー（大） | 1 個 |
| H. チェーンカバー（小） | 1 個 |
| I. チェーンカバー固定用ネジ
（黒、シルバー） | 各 1 個 |
| J. ペダルシステム取付用
ボルト、ナット（ワッシャー付） | 1 セット |
| K. 反射板（赤、白） | 1 セット |
| L. 車軸保護キャップ | 4 個 |
| M. チェーンライン調整用ワッシャー | 1 個 |
| N. 簡易スパナ | 大 1 本 小 2 本 |
| O. 六角レンチ | 6mm 1 本
5mm 2 本 |
| P. ペダル（左右） | 1 セット |
| Q. ペダルシステム | 1 セット |



図4

※付属の工具は簡易工具です。お手持ちの工具がある方は、使い慣れたご自身の工具での組み立て、分解をお勧めします。

※パーツの形状や種類、仕様、パッケージ方法は、予告なく改良されることがあります。

3 各部の名称



- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 後輪 | 8. フロントフォーク |
| 2. サドル | 9. フレーム |
| 3. ハンドルバー (ベル付) | 10. ペダルシステム |
| 4. 後ブレーキレバー | 11. ペダル |
| 5. 前ブレーキレバー | 12. チェーンカバーとチェーン |
| 6. 前ブレーキ | 13. 後ブレーキ |
| 7. 前輪 | 14. チェーンポケット |

※へんしんバイクは、組立製造時、及びペダルシステム動作確認点検の際、小さな傷や塗装剥がれが起きる可能性があります。不良品ではございません。予め、ご理解頂きますようお願いいたします。

4 組み立てについて

【重要】組み立て作業はお子様の安全のため、自転車店で行ってください。作業にあたっての工賃はおお客様のご負担となります。

※安全のため、作業をする方は軍手等を着用してください

※付属の反射板はバランスバイクでも取付けられますが、ハンドルとサドルがその分高くなります。スポーツバイクに変更する時には、安全のため取付けてください。



4.1 バランスバイクの組立

車体・ハンドルバー・その他の部品を取り出し、梱包材を外します。

4.2 前輪の取付

組立動画はこちら

1. 車軸についているナットと爪付ワッシャーを外し（図 6）、前輪をフロントフォークに取り付けます。（図 7）この時、図 8 のように手でタイヤを押しつぶして、ブレーキパッドにあたらないようにタイヤを通します。
2. 爪付ワッシャーの爪をフロントフォークの穴に入れて（図 9）、車軸にハブナットを取り付けます。15mm のレンチを使って左右両側を仮止めし、タイヤが回転することを確認したうえで、増し締め固定します。



図 6



図 7



図 8



図 9

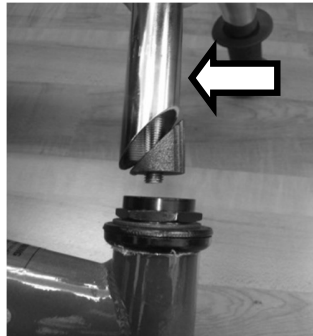
梱包前にタイヤに空気を入れ、前輪を取り付けたうえでブレーキの利きの調整をしておりますが、移動中の揺れや気温の変化で、若干のズレが生じる場合があります。

4.3 ハンドルバーの装着

1. ハンドルバー中心（図 10）を 6mm の六角レンチで緩め、ハンドルステムについている黒い保護キャップを外し、右側にベルがくるようにハンドルバーをフレームの所定の位置に差込みます。（図 11）



図 10



ハンドル
ステム

図 11



図 12

この時前ブレーキユニットがフロントフォークの前側に来るようにしてください。（図 12）

2. ハンドルバーの高さを調整します。その際、必ずステムにあるギザギザのマークよりも深く、ステムを挿入してください。（図 13）ハンドルを持ったとき、ひじに少しのゆとりが出る高さが適切です。ハンドルバーの高さが正しく調整されていれば、お子様はゆったりとした前傾姿勢となり、カーブでハンドルを切ったとき（片方の手が遠くなっていくとき）でも、ハンドルバーのグリップから手が離れているようなことはありません。前輪を目印にして、ハンドルバーは車体に対して直角にセットします。（図 14）

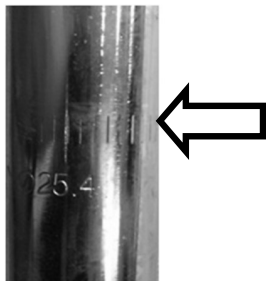


図 13



図 14

ハンドルバーのボルトを六角レンチで締めてハンドルを固定します。（図 15）

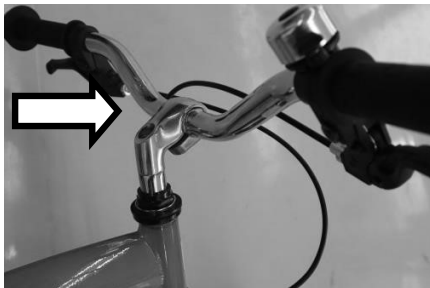


図 15

警告：
強く締め付けすぎではいけません。
故障する可能性があります。
正しく固定されていないと、お子様は転倒し
怪我をすることがあります。

3. ベルがハンドルグリップのすぐ脇に来るように位置を調整し、輪になっている黒いプラスチック部分のネジを下側から、六角レンチのドライバー部分（L字の六角レンチは長い方の先端がプラスドライバーになっています）でしっかりと締め込み固定します。（図16）
ブレーキの角度も付属の六角レンチで調整します。（図17）六角レンチはL字になっています。ボルトには短い方を差込み、長い方を手に持ち、時計回りに締め付けてください。持ち方を誤ると力が入らず、うまく固定することができません。



図 16

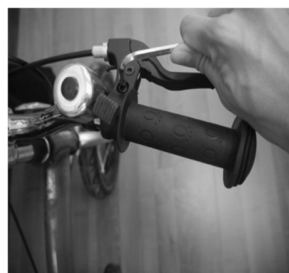


図 17

4.4 サドルの調整

1. お子様の両足のかかところが地面につくように、サドルの高さを調整しましょう。サドルが動いてしまう場合、レバーの締め付けが弱いので六角レンチを時計回りに締め付けて下さい。（図18）



図 18

警告：サドルにもギザギザのマークがあります。（図19）必ず、このマークよりも深く、サドルを挿入してください。サドルが抜け、お子様は重症を負う可能性があります。



図 19

2. 前後輪に空気を入れてください。へんしんバイクは、輸送中のパンク防止のため、お届け時のタイヤの空気圧は低くなっていますので、使用前に必ず前後輪に空気を入れてください。

空気を入れずに使用するとパンクの原因になります。定期的に空気が抜けていないか確認してください。

※お子様の安全のために、後ろブレーキはきつめに調整しています。ブレーキがきつい時は、サドルを下に本体を逆さまに置きます。後輪ブレーキレバーを強く握りブレーキが効く状態のまま、タイヤを手で50回ほど力を入れて回します。ブレーキに「当たり」が付き緩みます。

3. 前後の車輪を固定するアクスルナット（車軸）に、ケガ防止用保護キャップ(L)を取り付けます。

以上で、バランスバイクの組み立ては完成です。

お子様の安全のためにも、各部のネジ、ボルトがきつく締められているか、緩みがないか、各パーツが適切に動くか、タイヤの空気圧は適切か、確認の上でご乗車ください。安全のため、お近くの自転車店で点検の上、ご乗車になることをお勧めします。

お子様の足と体を使って、“走る・曲がる・止まる”ができるようになることがバランス感覚を育みます。安全のため、必ず、ヘルメットやパッドをつけ、保護者の方の目が届く所で遊びましょう。

4.5 軽量スポーツバイクの組み立て

お子様がバランス感覚を習得し、バランスバイクを乗りこなせるようになったら、へんしんバイクをスポーツバイクに変身させましょう。ペダルシステムを取り付けすれば、スポーツバイクになります。

【重要】組み立て作業はお子様の安全のため、自転車店で行ってください。作業にあたっての工賃はお客様のご負担となります。



組立動画はこちら

1. サドルの高さを一番低い設定で使用していた場合、5cm 程度高くしてください。サドルが低すぎるとペダルシステム差込みの際、内部でサドルとペダルシステムがぶつかってしまい、ペダルシステムを取り付けることができません。

サドル高は、バランスバイク時と同じ程には、低くすることはできません。

2. 車体を上下逆さまにして立たせ、ハンドルとサドルで車体を支えるようにします。（図 20）



図 20

3. ペダルシステム（図 21）をフレームの溝に合わせて装着します。（図 22）このとき、チェーンリングが後輪のフリーホイールと同じ側に来るようにします。ナット（長い方）を前方から、また、ボルト（短い方）を後方から挿入し、しっかりと固定してください。（図 23）ワッシャーはペダルシステムの前後に1枚ずつ入るようにしてください。ボルトとナットは、両側を付属の六角レンチ（2本）で挟むようにし、前方、後方共に時計回りに六角レンチを締め込んでいきます。前後同時に締め付けるようにすると、しっかりと固定できます。



図 21



図 22



図 23

警告：ペダルシステムのボルトとナットは、ワッシャーを入れてしっかりと固定してください。ペダルシステムが、しっかりと固定されていないと、ペダルを踏み込んだときに、ペダルシステムがぐらつき、チェーンが脱落しやすくなります。ペダルが脱落し転倒すると、お子様が重症を負う可能性があります。

※最初はシーリング剤が付いていますが、一度ペダルシステムを外し再び取り付ける際は、ボルトとナットの緩みを防ぐ、商品名「ロックタイト」のような、シーリング剤（ネジの緩み止め剤）を使用してください。

4. ペダルを装着します。“R”の刻印があるペダル（図 24）を右側（チェーンホイールのある側）のクランクアームにセットし、ペダルの根元を持って時計回りに締め込み固定します。（図 25）“L”の刻印があるペダルは、左側のクランクアームにセットし、反時計回りに締め込み固定します。



図 24



図 25

正しくセットされていれば、ペダルは手で軽く取り付けできますが、最後の締め付けはスパナで、しっかりと行いましょう。

5. チェーンポケットからチェーンを取り出します。チェーンポケットの2か所のネジをプラスドライバーで外します。（図26）後輪のフリーホイールにチェーンをかけて（図27）ペダルシステムのチェーンリングにもチェーンを半分かけます（図28）。どちらもかかっていることを確認したら（図29）の矢印の方向に力を入れてペダルをぐるっと回します。



図 26



図 27



図 28



図 29

どちらのチェーンリングにもチェーンがはまったことを確認して、何回か回してください。

※外したチェーンポケットとネジは、バランスバイクに戻す際に使用しますので、捨てないで下さい。

6. チェーンカバー（大）を取り付けます。

チェーンカバー前の穴にクランクアームを通します。（図30）ペダルシステム側のチェーンカバーの凹みに合わせてチェーンカバーをはめ込んでいきます。ペダルシステム側のチェーンカバーが合わない場合、回転させ角度を調整してください。カチッと音が鳴ってはめ込めたら後ろのフレームの穴とチェーンカバーに付いている黒い金具の穴を合わせ（図31）、P6 I.チェーンカバー固定用ネジシルバーで固定します。（図32）

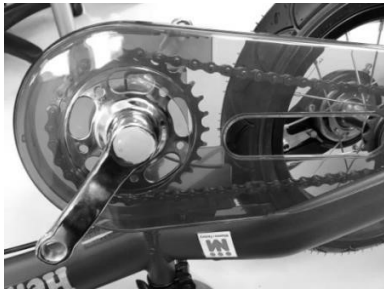


図 30



図 31



図 32

7. 車体の上下を元に戻します。

服の巻き込み防止用に P6 H.チェーンカバー（小）を取り付けます。チェーンカバー（小）をチェーンカバーの上部に取り付けます。（図33）爪をひっかけ、片側を固定し、反対側をチェーンカバーの穴に合わせ P6 F.チェーンカバー固定用ネジ黒を通してドライバーで固定します。（図34）



図 33



図 34

8. サドルの高さを、楽にペダルに足が届く高さに調整します。サドルに座りペダルを回転させてみましょう。ペダルが最も下にきたとき、膝が少し曲がる程度ならば、適正なサドル高です。

9. 反射板を取り付けます。輪になっている側のネジを緩め（図35）白の反射板をハンドルに（図36）赤の反射板をサドルに（図37）ネジで取り付けます。



図 35

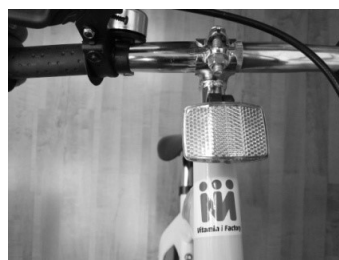


図 36



図 37

以上で、スポーツバイクの組み立ては完成です。

お子様の安全のために、各部のネジ、ボルトがきつく締められているか、緩みがないか、各パーツが適切に動くか、タイヤの空気圧は適切かを確認の上でご乗車ください。安全のため、お近くの自転車店で点検の上、ご乗車になることをお勧めします。

5 前後ブレーキの調整

5.1 ブレーキレバーの調整

前後ブレーキのブレーキレバーとハンドルグリップの間隔（握り幅）は、セッティング用ネジで、調整することができます。お子様の手の大きさに合わせて調整しましょう。お子様の手が、少なくとも指2本でレバーを握ることができ、普通の力で無理なくブレーキ操作をできれば、握り幅は適切です。セッティング用ネジを時計回りに締め込むと、握り幅は狭くなります。セッティング用のネジは、ブレーキレバーの付け根付近にあります。（図 38）



図 38

ブレーキレバーを握った時、ブレーキが効く前に、ブレーキレバーがハンドルグリップに付いてしまうようでは、ブレーキが効かず大変危険な状態です。乗車前には必ず、ブレーキが効くか確認し、必要に応じ、ブレーキを調整してください。

5.2 前後ブレーキの調整

右手側が前ブレーキ、左手側が後ブレーキです。安全のため、ブレーキの調整は自転車店に依頼することをお勧めします。作業にあたっての工賃はお客様のご負担となります。

6 乗車前の点検

乗車する前に必ず、前後のブレーキの効きを確認しましょう。また、サドルの高さ、ハンドルの高さ、車輪が、正しく調整され、しっかりと固定されていることを確認しましょう。タイヤの空気圧も定期的に点検してください。へんしんバイクは35PSI までは空気を入れることができますが、衝撃吸収を考慮すると、25～30PSI が適正空気圧です。



7 メンテナンス

メンテナンスはこちら

定期的に各部のネジ、ボルトなどがきちんと留まっているか確認してください。お子様の安全のため、定期的に自転車店にメンテナンスを依頼してください。

洗車： 湿った布またはスポンジで、車体全体（チェーンを除く）を綺麗にします。その後、乾いた柔らかい布で乾拭きをしましょう。

点検： 車両全体のボルト、ナット、ネジをはじめとする各部品が、正しく保持され、部品に破損や磨耗がないか、タイヤの空気圧が適切か、定期的に確認しましょう。

注油： 自転車各部を正しく作動するように維持するには、定期的な注油が必要です。

ブレーキ： ブレーキをかけるとしっかり効くか、スムーズに作動するかを確認しましょう。ブレーキシューが適切な量があるか確認しましょう。

タイヤ、チューブ： 空気圧が正常か、タイヤの溝が十分あるか、亀裂が入ってないか確認しましょう。空気圧の低い状態での乗車は、パンクなどタイヤの寿命を著しく短くするので行わないで下さい。

消耗・磨耗が発見されたら、必ず交換しましょう。部品を交換する際には、へんしんバイク純正部品、または、へんしんバイク正規販売店や自転車店が勧める同等品を使用しましょう。

ハンドルやサドルの高さ： お子様の成長に合わせて随時調整してください。

8 専用スタンドの取り付け

スタンド、ボルト 2 本があることを確認します。（図 39）

チェーンの反対側のアクスルナットの下の 2 つの穴にスタンド側の穴（図 40）を合わせてシルバーのボルトを締めこみます。（図 41）両方をしっかりと締めこんで固定してください。



図 39



図 40



図 41

9 お問い合わせ

へんしんバイクに関するお問合せは、ビタミンiファクトリー、またはお買い上げの販売店まで。
初期不良の場合は、お買い上げから2週間以内にご連絡ください。
購入時のレシートは取扱説明書といっしょに大切に保管してください。

平日 10時～17時（土日祝休）

株式会社ビタミンiファクトリー

〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園 1-1 Tote 駒沢公園 2F

商品の不具合については、www.vitamin-i.jp/contactまで。

へんしんバイク総発売元

株式会社ビタミンiファクトリー

〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園 1-1 Tote 駒沢公園 2F

<http://www.vitamin-i.jp>

へんしんバイク、バランスバイクはビタミンiファクトリーの登録商標です。

2025.01